

2. 御殿場市の芸術文化を取り巻く状況

(1) 芸術文化に関する社会的動向

芸術文化に関する主要な社会的動向について整理します。

① 行政と民間の役割分担

○より効果的かつ効率的な地域経営の実現と行政経営の基盤強化を図るため、公共サービス全般における「官」と「民」の役割分担の見直しが求められています。その中で、芸術文化の分野においても、民間の知識・経験の積極的な活用が進んでいます。

② 様々な担い手の活発化

○人々の幸福や地域の豊かさの実現には、物質的な発展だけでなく、一人ひとりの精神的な充足感や安心感が大きく係っています。また、それは「企業」や「行政」による活動だけで実現できるものでもなく、人と人々が支え合い、役に立ち合うという「共助・協働」の精神で参加する公共的な活動が重要であると多くの人が認識しつつあります。芸術文化の面においても、市民のボランティア活動や企業の非営利活動、民間と行政の協働活動など、様々な共助・協働の取り組みが増えています。

③ 情報メディアの急速な発展と普及

○インターネット等の情報通信技術の急速な発展と普及は、地球規模での情報の受信・発信を容易にし、人々の対話や交流を活性化させるなど、様々な分野において人々の生活に大きな利便性をもたらしています。芸術文化の面においても、作り手側の創作活動や発表、受け手側の鑑賞や評価などのいずれのあり方にも大きな影響を及ぼしています。

(2)御殿場市の芸術文化の現状と課題

実態調査、市民アンケート調査、関係者アンケート・ヒアリング調査等の結果から、御殿場市における芸術文化の現状と振興に係る主要な課題について整理します。

①芸術文化の振興について、市民全体で理解を深めること、市民それぞれの関わり方(参加)を高めていくことが大切です。

[現状]

○市民は暮らしの中での芸術文化の必要性・重要性を感じているものの、御殿場市が芸術文化の盛んなまちだと感じている人が多くないのが現状です。

市民アンケート；「日常生活の中で芸術文化は大切」が85%を占めるが、「市が芸術文化の盛んなまちだと思う」は22%にとどまる。団体アンケート；市が取り組むべき施策として「市民の文化意識の高揚」が最も多い。

○市民が芸術文化に対して感じている意義・効果としては、生活の質（Quality Of Life）の向上等に関するものが上位となっています。

市民アンケート；市民の芸術文化の環境が充実することの意義・期待される効果として、「人々の交流や社会参加が盛んになる」60%、「子どもが心豊かに成長する」56%、「生きる楽しみを見出せる」55%が上位となっている。

[課題]

●各種の芸術文化活動を活性化していくこと（個別対応）と、暮らしを豊かにする芸術文化の意義・機能を意識したまちづくりを推進していくこと（全体対応）の双方が求められています。

●芸術文化の振興について、市民全体で理解を深めること、市民それぞれの関わり方(参加)を高めていくことが大切であり、また、様々な主体（個人、活動団体、企業等）がそれぞれの立場で取り組みを進めていける環境づくりが重要となっています。

②より能動的(創作、参加等)に関わっていける環境の充実や意識啓発を進めていくことが重要です。

[現状]

○市民の創作・参加等の能動的活動は全体として低調に留まっています。

〔 市民アンケート;「美術・音楽等の創作活動」が 10%、「美術・音楽等の習い事」が 11%、「地区の文化祭等への参加」が 22%。今後の取り組みでも「鑑賞」が 68%であるのに対して「創作・発表」は 19%にとどまる。 〕

[課題]

- 日々の暮らしを喜びや楽しみで満たしていくためには、暮らしの中で身近に芸術文化に触れる(心動かされる)ことがとても大切です。受動的な関わり(鑑賞)だけでなく、できればより能動的(創作、参加等)に関わっていくことが望まれます。また、芸術文化への能動的な関わりは、地域や仕事等とは別の人間関係を形成していく上でも有効です。そのための環境の充実や意識啓発(より積極的な意識づくり)を進めていくことが重要となっています。

③御殿場市の現状を考慮し、観光振興や福祉交流と連携した芸術文化振興の可能性を探っていくことが重要です。

[現状]

○御殿場市において芸術文化関連(活用できる)の施設は、市レベルから地区レベルにいたるまで充実しているといえます。また、関連イベントや教室等の開催も、活発に行われているといえます。

○市の現状や各種施設の持つ特徴から、観光や福祉の取り組みに包含されて、芸術文化の取り組みが展開されている面が多く見られます。他分野との連携の中で芸術文化の取り組みの充実が図られている反面、一部においては似たような取り組みに留まってしまっている面も見られます。

〔 実態調査、関係者ヒアリングより 〕

[課題]

- 観光振興や福祉交流と連携した芸術文化振興の可能性を探っていくことは、御殿場市の現状を考慮すれば、とても重要といえます。観光や福祉などの他分野への波及効果や相乗効果などを考慮しながら、役割分担(各施設や事業の目的)を意識して、効果的に施策・事業の展開を図っていくことが重要です。

- 芸術文化振興の環境整備に係る市民ニーズに的確かつ柔軟に対応していくためには、行政と施設管理運営者とのより密接な連携や意思疎通を高めていくことが重要です。

④市全体での機運の高まりや大きな活動へと発展を目指して、活動団体間、地域間、活動団体と地域間などの結びつきを高めていく必要があります。

[現状]

- 各種活動団体間の結びつきや連携が多くはない状況にあります。同じ分野での市レベルと地区レベルでのつながり（タテのつながり）、各分野間や地域間のつながり（ヨコのつながり）が活発ではありません。そのため、市全体での機運の高まりや大きな活動へと発展せずに活動が地域内だけにとどまることが多く見られます。

〔 実態調査、関係者ヒアリングより 〕

[課題]

- 今後の芸術文化の活性化や市民交流の活発化を推進していく（より広がりや深まりを求めていく）ためにも、活動団体間、地域間、活動団体と地域間などの結びつきを高めていく必要があります。

⑤芸術文化の受け手、創り手、支え手となる市民の利便性向上や意識啓発の視点をより意識した、情報の提供や発信に努めていく必要があります。

[現状]

- ホームページ、パンフレット、情報誌など、芸術文化に関する情報媒体はいろいろと用意されているものの、教室等への参加や施設利用といった活動に直接関わる情報が入手しにくく、内容も分かりにくいと感じる面があります。また、活動団体などの情報発信は活発ではない印象があります。

〔 実態調査、関係者ヒアリングより 〕
〔 市民アンケート；情報の提供に対する満足状況は、「満足」＋「やや満足」が 9%であるのに対して、「やや不満」＋「不満」が 30%と満足度は低い。また、芸術文化振興のために力を入れていくべき取り組みとして「情報発信の強化」が 38%で3番目に多い。 〕

[課題]

- 芸術文化の受け手、創り手、支え手となる市民の利便性向上や意識啓発の視点をより意識した、情報の提供や発信に努めていく必要があります。また、活動団体などでも自分たちの活動の紹介や参加の呼びかけといった情報発信の取り組みが望まれます。

⑥芸術文化活動の裾野の拡大や底上げ、新規活動の育成等の観点から、活動や組織、人材に対する幅広い支援を検討する必要があります。

[現状]

○各活動団体の体力（人材、活動レベル等）の低下が伺えます。

〔 団体アンケート；活動上の課題として「構成員の確保・拡大」、「レベルの向上」、「後継者不足」が上位となっている。 〕

[課題]

- 各活動団体に対して効果的な支援を行っていく上でも、団体の実態状況を正確に把握していく必要があります。その上で、各団体の状況に応じたきめ細かな支援のあり方を検討していくことが重要です。
- 芸術文化活動における裾野の拡大や底上げ、新規活動の育成等の観点から、団体単位とは別に活動や人材に対する支援のあり方も含めた検討が望まれます。

⑦子どもが感性を豊かに育んでいけるよう、子ども向けの良質な芸術文化の体験・機会の充実と、家庭での意識啓発を進めていくことが重要です。

[現状]

○次世代の人づくりの観点からも芸術文化の重要性を多くの人が感じており、子どもの芸術文化体験・機会の充実が望まれています。

〔 市民アンケート；市民の芸術文化の環境が充実することの意義・期待される効果として「子どもが心豊かに成長する」が 56%と 2 番目に多い。芸術文化振興のために力を入れていくべき取り組みとして「子どもの芸術文化体験・機会の充実」が 40%で 2 番目に多い。 〕

[課題]

- 子どもが感性を豊かに育んでいけるよう、子ども向けの良質な芸術文化の体験・機会の充実と、家庭での意識啓発を進めていくことが必要です。
- 教育機関、家庭、活動団体、専門家・指導者等との連携体制を整えていくことが重要です。